



校長室だより

校長 菅原 定志

「ポスターセッション」

12月11日(金)の授業参観、学年懇談会には年末でご多用の中、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。授業参観では、総合的な学習の時間に探究的に学んできた防災学習について、「防災学習発表会」として参観していただきました。昨年度までとは違う形式での発表会だったことから、戸惑われた保護者の方もいたことだと思います。今年度は、『ポスターセッション』という発表形式で行いました。これは、発表者が数回同じ場所で発表し、参観者が聞きたいと思った発表の場所へ移動して参観するというものです。発表会終了後には、全部の発表を聞きたかったという声も頂きましたが、『ポスターセッション』での発表は、発表者と参観者の距離が近いことや参観者が聞きたいと思った発表のみを聞くことができる、感想や質問もしやすいなどの利点があることから、最近の発表会ではメジャーな発表形式となっています。大学の先生や研究者が研究の成果を発表する「学会」に参加したことがあります。ほぼ同じような形式をとっていました。

生徒にとっても初めての発表形式での「防災学習発表会」でした。これまでとは違うことを行うためには、大きなエネルギーが必要になります。しかし、どのグループも私が予想していたよりはるかに内容が充実しており、さらには聞き手に分かりやすいような工夫が随所に見られた、素晴らしい発表でした。さらに、多くの生徒が原稿を読まず、自分の言葉で説明していたことから、たくさんのことが伝わってきました。生徒も担当した先生も頑張った成果だと思います。



今、この生徒の頑張りを校内だけではなく、校外に発信できないか模索しています。当然、全てのグループが行うことは無理なので、1つのグループでもできないかと思っています。そうすることが、震災の「伝承」となっていくからです。発表の場を探していますので、保護者の皆様には何かよいアイデアがありましたら、お知らせください。

さて、学年懇談会では、来年度から学校集金を口座振替にすることについて説明させていただきました。現金事故防止の観点から、県・市教育委員会より口座振替の導入が求められています。反対の意見はありませんでしたので、令和3年度から学校集金は口座振替とさせていただきます。なお、手続き等については、金融機関との契約等が整い次第お知らせいたします。

今年ももう少しで終わろうとしています。学校も新型コロナウイルスに翻弄された1年でした。まだ出口は見えませんが、必ず出口から光が見えることを信じて進んでいきたいと思っています。

保護者の皆様には、いつも教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝しております。来年も、よろしくお願ひいたします。どうぞよいお年をお迎えください。